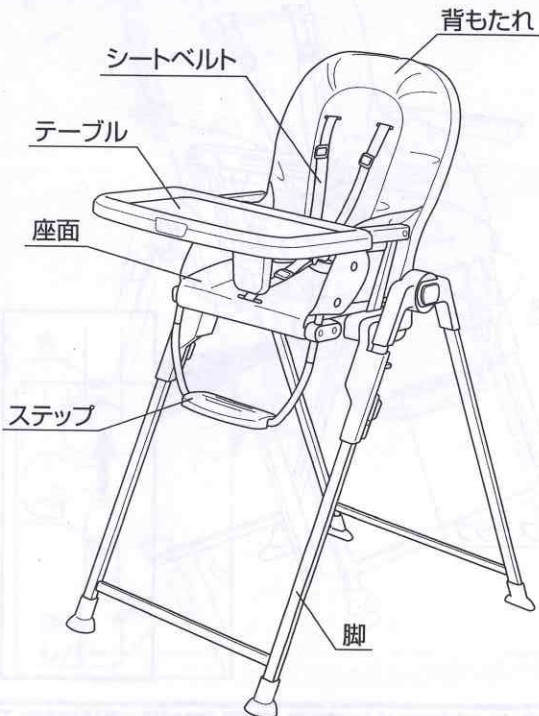


## ⚠ 使用上の注意

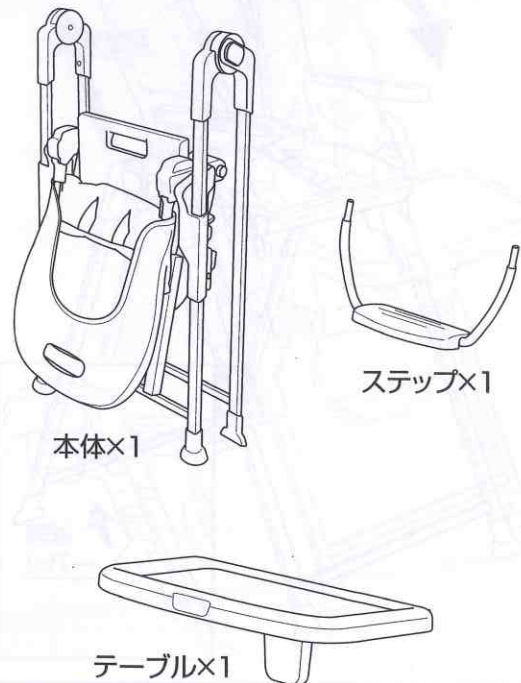
- ◆取扱説明書通りに組立て、操作して下さい。
- ◆生後7ヶ月頃(お座りができるようになって)から60ヶ月までのお子様にご使用下さい。
- ◆生後36ヵ月未満の乳幼児が使用する場合は必ず保護者の方が付き添い、テーブル、シートベルトを必ず付けて使用して下さい。
- ◆用途(お子様を座らせること)以外に使用しないで下さい。
- ◆保護者の方が組立て、操作を行って下さい。
- ◆いすに座らせたお子様を放置しないで下さい。
- ◆同時に2人以上のお子様を座らせないで下さい。
- ◆水平、平たんでストーブ等の危険物のない安全な場所で使用して下さい。
- ◆座面及びステップにお子様を立たせないで下さい。
- ◆お子様がステップを踏台にしていすに乗り降りする場合は、保護者の方が付き添って下さい。
- ◆座席が確実に固定されていること、各部分に緩みがないことを確認してから使用して下さい。
- ◆お子様がテーブルから身体を乗り出さないように注意して下さい。
- ◆座面にお子様を乗せたまま、いすを移動しないで下さい。
- ◆いすに直射日光又は熱が当たらないように注意して下さい。
- ◆背もたれにタオル、毛布等を敷いてのご使用はお子様を滑り落ちる可能性がありますので使用しないで下さい。
- ◆付属のシートマット以外のマット等は使用しないで下さい。
- ◆外から力を加えると転倒の危険性があります。幼児が外から手をかけたり、よじ登ったりしないように注意して下さい。
- ◆万が一、本体が破損した場合にはご使用にならないで下さい。
- ◆フローリング等でのご使用は床に傷が付く恐れがありますのでご注意ください。
- ◆本品は木材使用のため長時間のうちに温度、湿度の変化、また使用保管状況により木材が変化劣化することがあります。
- ◆本体に付属している梱包材(ビニール袋等)は窒息等の事故につながる恐れがありますので、お子様の手の届かない場所に保管するか廃棄するようにして下さい。

## 各部の名称・使用部品

### 〈各部の名称〉



### 〈使用部品〉

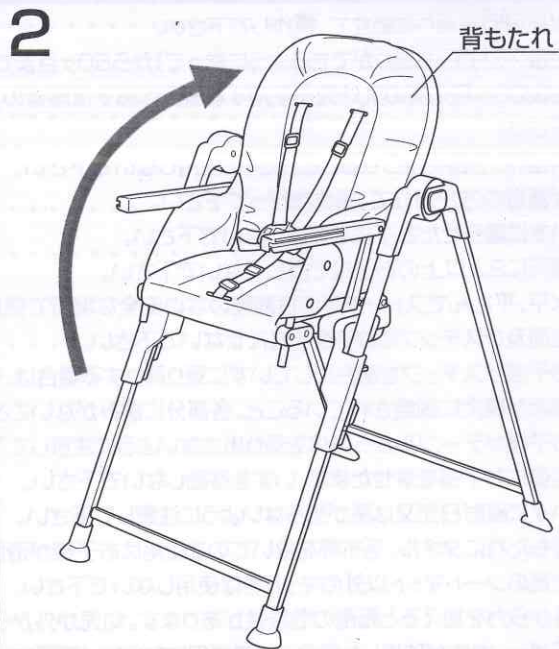


※説明書内のイラストと実際の商品とでは多少形状が異なる場合があります。

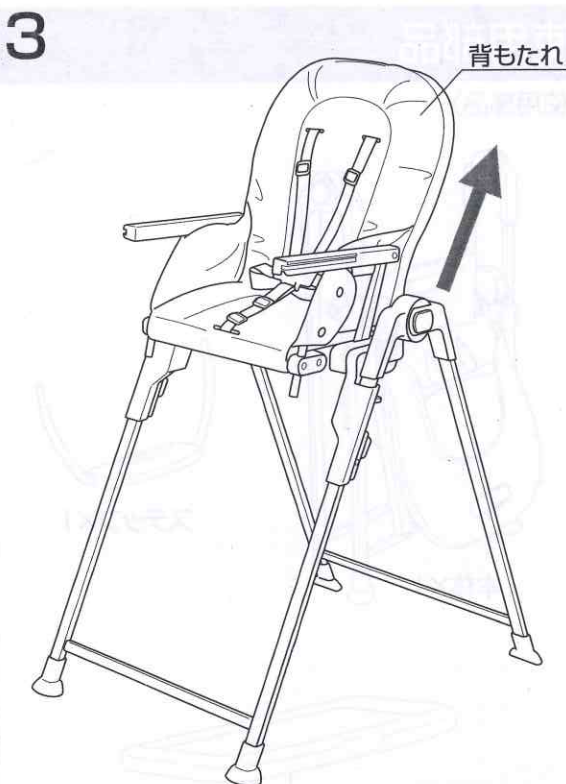
# 組立方法



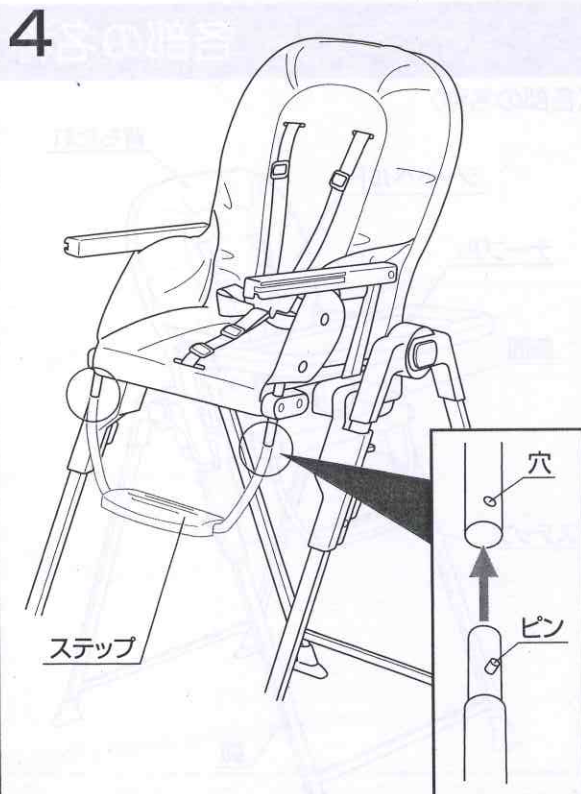
1. 本体両側に付いている開閉ボタンを押して、後脚を開いて下さい。



2. 背もたれを起こして下さい。\*背もたれ、座面が確実に固定していることを必ず確認して下さい。  
\*P4「折畳み方法/図2」の状態になっている場合がありますので、確実に固定するまで背もたれを起こして下さい。



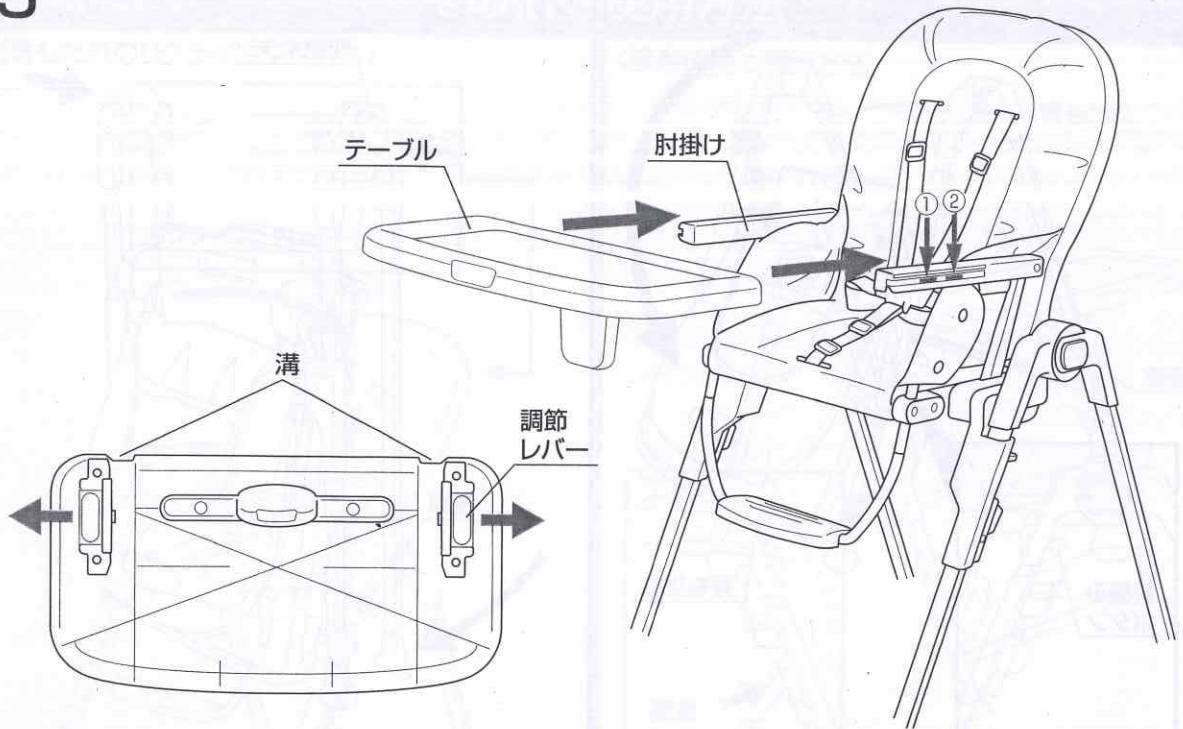
3. 背もたれを持って最上段まで上げて固定して下さい。



4. ステップのフレームのピンを押しながら、本体に差し込んで、穴から出して下さい。



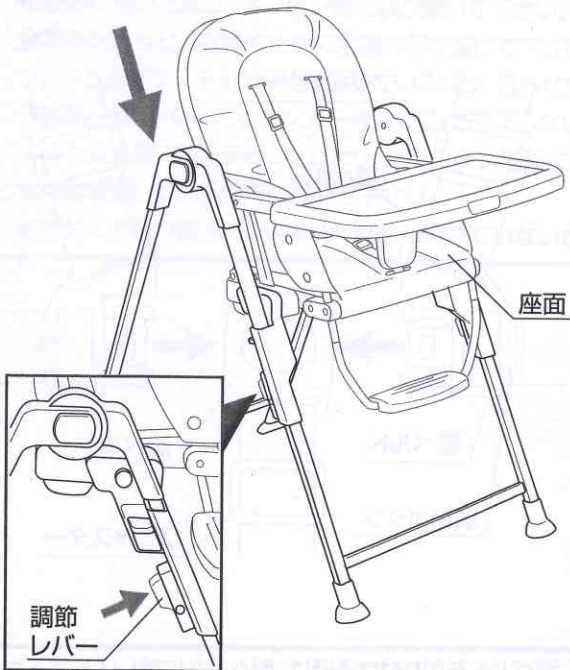
5



5. テーブル裏側の両側に付いている調節レバーを引きながら、テーブルの溝を本体の肘掛けに合わせて差し込んで取り付けて下さい。\*テーブルは調節レバーを引くと位置を2段階に調節することができます。(①⇔②)

## 折畳み方法

1



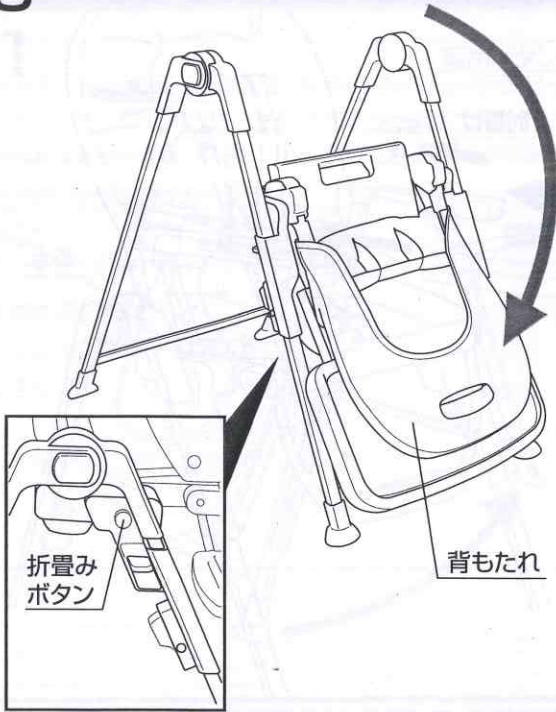
1. 本体両側に付いている高さ調節ボタンを押して、座面の高さを最下段まで下げて下さい。

2



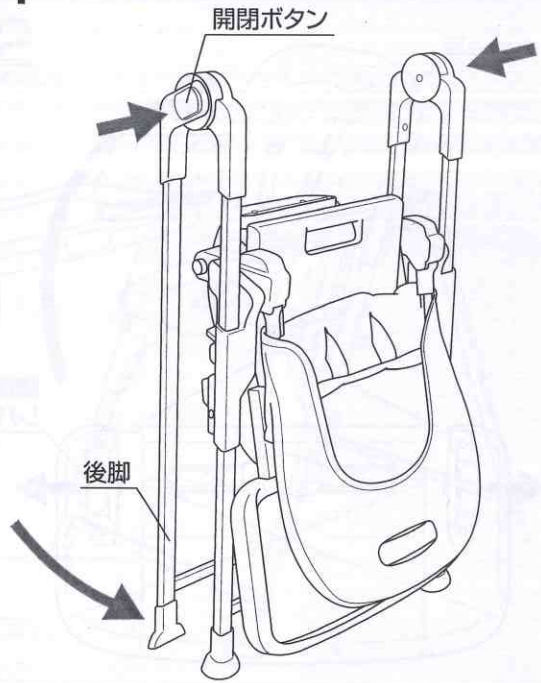
2. 本体両側に付いている解除レバーを上げて、座席全体を少し前に倒して下さい。

3



3. 本体の片側のみについている折り込みボタンを押して、背もたれを折り込んで下さい。

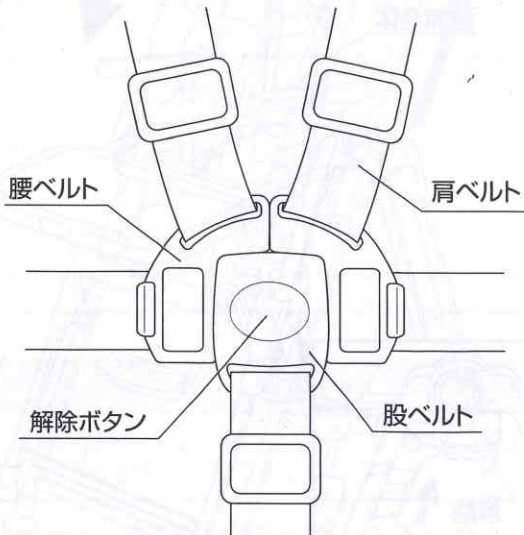
4



4. 本体両側に付いている開閉ボタンを押して後脚を閉じて下さい。

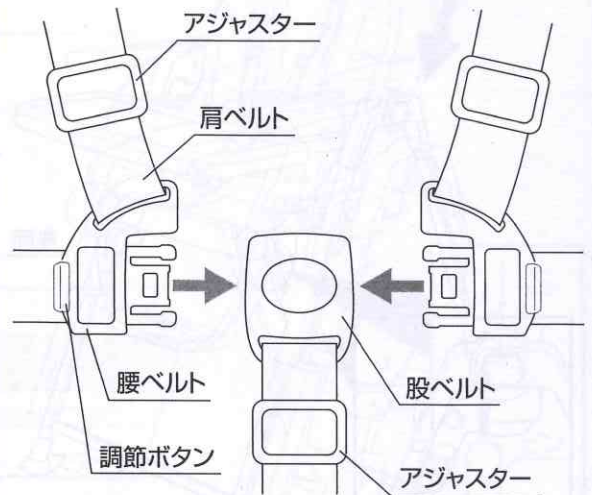
## シートベルトの使用法

〈シートベルトの取外し方法〉



◇腰ベルトを股ベルトから取り外す場合は、解除ボタンを押して下さい。

〈シートベルトの取付方法〉

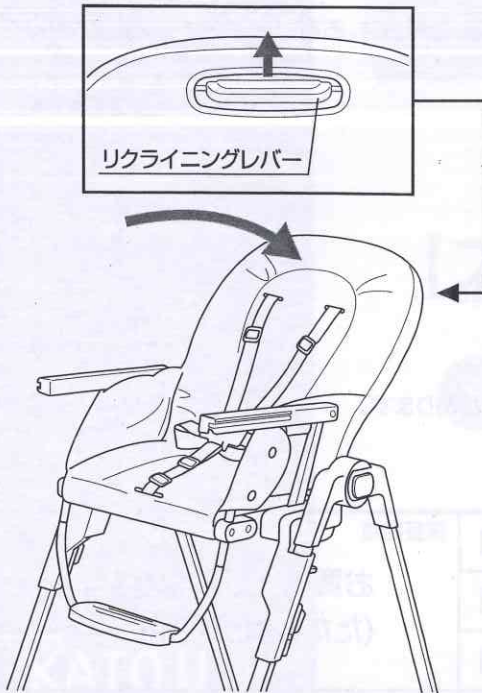


◇腰ベルトを取り付ける時は、股ベルトに差し込んで下さい。肩ベルト、股ベルトの長さはアジャスターで調節して下さい。腰ベルトの長さを調節する時は、調節ボタンを行って下さい。

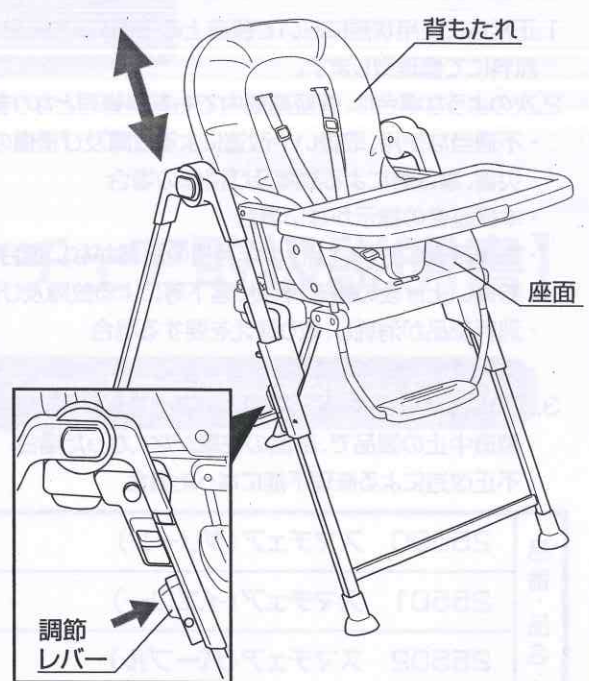


## その他の使用方法

### 〈背もたれのリクライニング方法〉



### 〈座席の高さ調節方法〉



◇背もたれの後部にあるリクライニングレバーを上げると背もたれを倒すことができます。(2段階調節)

◇本体両側に付いている高さ調節ボタンを押すと、座面の高さを下げることができます。(4段階調節)  
座席を上げる場合は背もたれを持って上げて下さい。

## お手入れ方法

- ◇布部分に付いたホコリはブラシ等で取り除いて下さい。
- ◇金属部分はサビ等を防ぐために水濡れ等を避けて下さい。
- ◇フレームとプラスチック部分が汚れている時は、湿らせた布等で拭き取った後、乾いた布等で水分を拭き取って下さい。
- ◇研磨剤、溶剤(ベンジン、シンナー等)は決して使用しないで下さい。
- ◇本体を長時間、直射日光に当てたり、湿気の多い場所に放置したりしないで下さい。
- ◇本体は乾燥している場所に置いて下さい。
- ◇定期的に各部が緩んでいないか、部品が壊れていないか点検して下さい。